

ケルベロス・ドラムス 練習法

Q1. いつも来ている先生の言うことと、書いてあることが違う・・・

A1. あくまで私がレッスンで行っている方法をまとめただけなので、他の先生とはやり方、進め方等違う部分も多々あると思います。迷った場合は、普段習っている先生のやり方を優先してください。皆さんの演奏を目の前で見てレッスンをされている先生方のほうが、より皆さんに合った練習方法などを提案して下さるとと思います。



Q2. 少しずつテンポを上げる練習で、すぐ腕が疲れてしまいます。

A2. このような練習は、1日2日ですぐに効果が出るものではありません。休憩を挟みながらも毎日続けていけば、少しずつ長時間演奏できるようになります。ただし、腕、手首、指、肩などが痛くなるまで練習するのは絶対に止めましょう。痛くなるのは、やり過ぎかやり方が間違っているかのどちらかです。特に、腕時計をする辺りが痛い場合は、すぐに練習をやめましょう。

Q3. 手順は3人で揃えた方がよいでしょうか？

A3. 見た目を気にして合わせる必要はありません。しかし、音を揃えるためには、ある程度ルールを決めておいたほうが揃えやすいと思います。

譜例1（八分音符4つ）の場合は、片手で叩くのか、両手で交互に叩くのかを決めます。ダンドンダンドン！と拍頭を強調して拍子に乗ることを優先するのか、ドンドンドンドン！と4つの音を揃えてテーマの形を強調することを優先するのか。どちらの場合も、左右どちらの手から始めるかはあまり関係ありません。

譜例2の場合も同様に、拍子にのることを優先して、十六分を交互で叩く手順をベースに手順を決めるか、（結果的に2回ずつ叩くことになる）アクセントの音を揃えやすいように、片方の手をアクセント担当にするか。（結果的に交互に叩くことになる）

譜例1 譜例2

R R R R
L L L L

R L (R) L R (L) R L (R) L R (L) R L R L R (L) R L R

L R L R L R L R L R R L R L R R L R

[A] 頭の体操

口で"1, 2, 3"とカウントしながら、手拍子でリズムを取ります。
 始めに何回繰り返すかを決め、最後の小節でぴったり合うように、
 口でカウントをしながら、頭の中で何回繰り返したかを数えます。

A

Three staves of musical notation in 3/4 time. Each staff contains a sequence of slashes representing drum strokes, with counts "1 2 3" written below. The notation includes repeat signs and a final double bar line.

[B] 実際に楽器、または練習台で演奏します

3,4小節目は、終わりの音と、次の人の始まりの音が同じタイミングなので、
 特にココがずれないように気をつけましょう。

B

Three staves of musical notation in 3/4 time. The notation shows dense rhythmic patterns with dots representing notes. Vertical dashed lines indicate synchronization points between staves.

[C] 頭の体操その2

[A]と同じことに気をつけて練習しましょう。
 ただし4拍子なので注意！

C

Three staves of musical notation in 4/4 time. Each staff contains a sequence of slashes representing drum strokes, with counts "1 2 3 4" written below. The notation includes repeat signs and a final double bar line.

ケルベロス・ドラムス 練習法 - 3/4

[D] 実際に楽器、または練習台で演奏します

[B]と同じことに気をつけて練習しましょう。これも4拍子なので注意！

D

Musical score for exercise D, featuring three staves with 4/4 time signature. The score consists of 16 measures. The first two staves have a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The third staff has a bass clef. The rhythm is complex, involving many sixteenth notes and rests. The piece ends with a double bar line and repeat dots.

[E] 応用編

普段もやっている練習かもしれませんが、まずは3人で一緒に演奏してみましょう。

リズムが変わる瞬間に、特に注意！

E

Musical score for exercise E, featuring three staves with 4/4 time signature. The first staff has a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The second and third staves have a bass clef. The score consists of 16 measures. The first two staves have a simple melody of quarter notes. The third staff features a complex rhythmic pattern of triplets (groups of three eighth notes) and quarter notes. The piece ends with a double bar line and repeat dots.

[F] 次は同じリズムを、1拍ずつリレーして演奏してみましょう。

それぞれが頭の中でカウントしていないと合いません。

速いテンポも難しいですが、遅いテンポも難しいです。四分音符 = 60等・・・

F

Musical score for exercise F, featuring three staves with 4/4 time signature. The first staff has a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The second and third staves have a bass clef. The score consists of 16 measures. The first two staves have a simple melody of quarter notes. The third staff features a complex rhythmic pattern of triplets (groups of three eighth notes) and quarter notes. The piece ends with a double bar line and repeat dots.

[G] 頭の体操その3

手拍子で4拍子を取りながら、4文字の言葉と3文字の言葉を、1小節ごとに繰り返しましょう。
2小節目は言葉と手がずれますが、4拍目の頭で再び揃うので、
まずはそこを狙って合わせましょう。

[G]

マリンバ マリンバ マリンバ マリンバ たいこ たいこ たいこ たいこ たいこ

[H]~[K] 実際に楽器、または練習台で演奏してみましょう。

2小節目はアクセントの位置が変わっているので、
間違えないように、まずはゆっくりから練習しましょう。

[H]

[I]

[J]

[K]

[L] 曲の中に何度も出てくる大切なリズムです。

2人が上段と下段に分かれ、もう1人が聞いてチェックしましょう。

[L]

[M]~[P] 応用編、片手で連続で叩く練習です。

まず、それぞれのリズムを右手のみ、左手のみで練習し、その後両手同時に演奏します。
続けての2発目、3発目~が弱くならないように、すべての音がクリアに聞こえるように、
ゆっくりから練習しましょう。

[M]

[N]

[O]

[P]